

平成22年度

## 事業報告書

自 平成22年4月 1日

至 平成23年3月31日

I. 法人の概要

II. 事業の概要

III. 財務の概要

学校法人 精華学園

学校法人精華学園の平成22年度の事業概要をとりまとめましたので、ご報告致します。

## I. 法人の概要

### 1. 教育目標

本学は、自立・協調・創造を教育目標の三本柱に掲げ、自分の力でしっかりと行動できる人間、お互いの違いを尊重し相手を思いやり助け合える人間、確実な学力を身につけ柔軟な発想で新しいものを作ることができる人間の育成に全力で取り組んでいます。

### 2. 学校法人の沿革

大正15年(1926) 財団法人精華実践女学校設立  
昭和4年(1929) 大阪市港区より阿倍野区に移転  
昭和18年(1943) 精華高等女学校と改称  
昭和19年(1944) 精華高等実業女学校と改称  
昭和23年(1948) 学制改革により精華技芸高等学校に改称  
昭和24年(1949) 精華女子高等学校に改称  
昭和58年(1983) 堺市中区辻之に泉北学舎を開校  
平成8年(1996) 阿倍野学舎は泉北学舎に移転統合  
精華高等学校と改称  
平成10年(1998) 男子生徒募集開始し、男女共学校となる  
平成13年(2001) 前期・後期の2学期制を実施  
平成14年(2002) 精華学園フィールドセンター開校  
平成17年(2005) 第2研修館完成  
平成22年(2010) 西広場開設

### 3. 設置する学校

精華高等学校 普通科

所在地 〒599-8245 大阪府堺市中区辻之1517番地

### 4. 生徒数の状況

平成22年5月1日現在(単位:人)

学則定員数	現員数	摘要
1080	966	

### 5. 役員の概要

平成22年5月1日現在  
理事(定員6名、現員5名)  
監事(定員2名、現員2名)

理事長(校長) 藤田 曙 久(常勤)  
理事 森 繁(常勤)  
理事 武藤 隆 義(非常勤)  
理事 東崎 行 雄(非常勤)  
理事 佐藤 浩 史(常勤)

監事 西村 明 史(非常勤)  
監事 阪田 義 澄(非常勤)

## 6. 評議員の概要

平成22年5月1日現在  
評議員(定員15名、現員12名)

隅谷 隆	・	正川昌彦	(左記2名は学校職員)
池内美智子	・	中西学美	(左記2名は本校卒業生)
藤田曙久	・	武藤隆義	} (左記8名は学識経験者)
阪本孝志	・	東 崎 行 雄	
森 繁	・	吉村博勝	
池上祥博	・	佐藤浩史	

## 7. 教職員の概要

平成22年5月1日現在

教 員(教諭・嘱託・講師) 76名

職 員 6名

## II. 事業の概要

### 1. 当年度の概要

当学校法人を取り巻く環境は、少子化や厳しい経済状況の中にあつて、生徒募集活動に大きな影響を受けており、教務・生徒指導・進路の三部門をはじめ学園あげでの取り組みに努めたものの、平成22年度は、募集人員320名に対し、入学者は287名にとどまり厳しい結果となった。

一方、平成22年度卒業生258名の進路状況については、大学・短大・専門学校への進学者は192名、就職者は23名、浪人・未定等は43名となった。このうち大学進学者は、101名を数え、難関大学の関西大学や関西学院大学にも合格者を出すことが出来た。就職希望者については厳しい経済環境の中ではありましたが、23名が内定を得ることが出来た。

### 2. コース別教育の強化

1年生は特進共通コースと特進選抜コースの二つを設定し、前者は2年生から生徒の希望により情報国際コース・環境福祉コース・スポーツ健康コース・特進総合コースの4コースから選択し、後者については、難関大学を目指して学ぶ3年間の一貫教育コースで実施した。その結果、特進選抜コースから現役で関西大学に合格者を出すなどの成果を上げることが出来た。

### 3. 各コースの概要

#### (1) 情報国際コース

コンピュータ、インターネットの急速な普及に伴い「情報」に対する認識や国際社会に対する理解が以前にも増して求められるようになった。この要請に応えるのが情報国際コースです。コンピュータや英語に親しみ、社会に通用する実践的な力を育成することに努めたが、英語検定については、一層の工夫が求められた。

- (2) 環境福祉コース  
環境、福祉の2課題を関連したものにとらえ、生活環境という身近な観点から出発し、自然との共生心を育み、福祉へつながるよう学習を展開し、特に老人ホームや幼稚園・保育園等に積極的に出向き、地域社会との交流活動にも努めた。
- (3) スポーツ健康コース  
生涯に通じる心身の健康のあり方を学び基礎体力の向上に取り組み、いろいろなスポーツを経験し、社会に貢献できる強い意志を持つ生徒を育成した。
- (4) 特進総合コース  
志望大学の現役合格を目標に、生徒一人ひとりが学習意欲を高め、学力向上に努め、早朝学習、進学講座、勉強合宿など目標達成に向けさまざまな取り組みを行い、一定の成果をあげることが出来た。
- (5) 特進選抜コース  
3年間の授業はもちろんのこと大学進学講座や勉強合宿を通じて、難関大学への現役合格を目標に実力アップのための取り組みに努めた。授業や進学講座では、基礎から応用まで3年間を見据えた密度の濃い内容でより実践的な実力を身に付けさせ、難関大学現役合格者を出すなど大きな成果を上げることが出来た。
4. 入学特別優遇制度の実施  
学力・人物ともに優秀な者や技能優秀な部活動推薦者、また保護者が本校卒業生、兄弟が同時に在学している受験生に対して入学金や授業料免除等の優遇措置を講じ入学者への支援を行った。
5. 施設等の整備  
校舎の空調設備及び放送設備の改善工事を夏期休暇中に実施するとともに吹奏楽部員の増加に伴い各種の楽器を購入し充実強化した。  
また学校隣接地2687.46㎡(812.95坪)を117,461千円で購入し、  
整地や門扉等の整備工事を7,092千円で実施し、平成22年度10月完成したので、西広場として部活動等の教育活動に寄与することになった。
6. その他  
学校運営の活性化と円滑化を図るため保護者会や保護者会役員経験者との連携、同窓会の支援、また学校後援会活動の応援等協力体制の強化に積極的に努めた。  
更に、吹奏楽部の活動が地域社会から高く評価され、文化祭等数多くの催しに出演依頼があり、大いに地域貢献に寄与した。

### Ⅲ. 財務の概要

#### 1. 財産目録

平成23年 3月31日

(単位 円)

科 目	部 門	摘 要	金 額
土地	高校		1,409,471,696
建物	高校		1,045,429,851
構築物	高校		20,661,794
教育研究用機器備品	高校		12,778,345
その他の機器備品	高校		363,318
図書	高校		41,667,211
車両	高校		17,419,501
電話加入権	高校		425,854
施設利用権	高校		4,607,623
退職給与引当特定預金	高校		102,279,278
現金預金	高校		49,597,958
未収入金	高校		3,733,670
仮払金	高校		113,330
修学旅行費預り資産	高校		25,022,058
資 産 合 計			2,733,571,487

長期借入金	高校		100,000,000
退職給与引当金	高校		133,328,140
長期未払金	高校		13,935,600
短期借入金	高校		271,000,000
未払金	高校		13,148,072
前受金	高校		61,371,500
預り金	高校		8,544,547
修学旅行費預り金	高校		25,022,058
負 債 合 計			626,349,917
差 引 正 味 財 産			2,107,221,570

## 2. 貸借対照表

平成23年 3月31日

(単位 円)

	科 目	本年度末	前年度末	増 減
資産の部	固定資産	2,655,104,471	2,556,941,177	98,163,294
	流動資産	78,467,016	126,506,915	△ 48,039,899
	資産の部 合計	2,733,571,487	2,683,448,092	50,123,395
負債の部	固定負債	247,263,740	123,777,081	123,486,659
	流動負債	379,086,177	518,778,124	△ 139,691,947
	負債の部 合計	626,349,917	642,555,205	△ 16,205,288
基本金の部	第1号基本金	4,240,940,154	4,207,681,632	33,258,522
	第4号基本金	80,000,000	80,000,000	0
	基本金の部 合計	4,320,940,154	4,287,681,632	33,258,522
差消費額の収支	翌年度繰越消費支出超過額	2,213,718,584	2,246,788,745	△ 33,070,161
	消費収支差額の部合計	△ 2,213,718,584	△ 2,246,788,745	33,070,161
	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	2,733,571,487	2,683,448,092	50,123,395

(注記)

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 引当金の計上基準

##### 徴収不能引当金

授業料の徴収不能に備えるため、期末未収授業料に対し、徴収不能実績率に基づく徴収不能見込額を計上している。

##### 退職給与引当金

期末要支給額363,806,283円から大阪府私立学校退職金財団よりの交付金相当額を控除した金額の100%を計上している。

#### (2) その他の重要な会計方針

##### 預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

預り金に係る収入と支出は相殺して表示している。

修学旅行費預り資産及び修学旅行費預り金に係る収入と支出は総額により表示している。

2. 重要な会計方針の変更等	該当事項なし
3. 減価償却額の累計額の合計額	1,816,534,461円
4. 徴収不能引当金の合計額	625,571円
5. 担保に供されている資産の種類および額	
土地	1,169,471,696円
定期預金	61,409,278円
6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額	128,419,500円
7. その他財政及び経営の状況を正確に判断する為に必要な事項	

所有権移転外ファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次のとおりである。

①平成21年4月1日以降に開始したリース取引

なし

②平成21年3月31日以前に開始したリース取引

リース資産の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	4,221,000円	1,549,800円
車 両	2,520,000円	1,260,000円
計	6,741,000円	2,809,800円

### 3. 資金収支計算書

平成22年 4月 1日

平成23年 3月31日

#### 収入の部

(単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	381,940,000	381,914,586	25,414
手数料収入	17,125,000	17,135,200	△ 10,200
寄付金収入	4,000,000	6,351,832	△ 2,351,832
補助金収入	416,109,430	416,071,414	38,016
資産運用収入	680,000	681,034	△ 1,034
事業収入	6,391,400	6,420,400	△ 29,000
雑収入	2,685,998	2,895,643	△ 209,645
借入金等収入	720,000,000	720,000,000	0
前受金収入	59,721,500	61,371,500	△ 1,650,000
その他の収入	152,000,000	149,875,688	2,124,312
資金収入調整勘定	△ 54,543,000	△ 54,977,075	434,075
前年度繰越支払資金	37,346,037	37,346,037	
収入の部合計	1,743,456,365	1,745,086,259	△ 1,629,894

#### 支出の部

(単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	552,671,481	551,834,705	836,776
教育研究経費支出	92,902,000	90,946,500	1,955,500
管理経費支出	48,089,000	46,990,002	1,098,998
借入金等利息支出	9,600,000	9,510,540	89,460
借入金等返済支出	679,270,000	679,270,000	0
施設関係支出	129,560,000	129,138,399	421,601
設備関係支出	27,003,400	26,752,984	250,416
資産運用支出	58,670,000	58,693,116	△ 23,116
その他の支出	129,700,000	129,435,727	264,273
〔予備費〕	5,000,000		5,000,000
資金支出調整勘定	△ 24,207,000	△ 27,083,672	2,876,672
次年度繰越支払資金	35,197,484	49,597,958	△ 14,400,474
支出の部合計	1,743,456,365	1,745,086,259	△ 1,629,894



## 4. 消費収支計算書

平成22年 4月 1日

平成23年 3月31日

### 消費収入の部

(単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	381,940,000	381,914,586	25,414
手数料	17,125,000	17,135,200	△ 10,200
寄付金	4,000,000	6,351,832	△ 2,351,832
補助金	416,109,430	416,071,414	38,016
資産運用収入	680,000	681,034	△ 1,034
事業収入	6,391,400	6,420,400	△ 29,000
雑収入	1,000,000	1,209,647	△ 209,647
帰属収入合計	827,245,830	829,784,113	△ 2,538,283
基本金組入額合計	△ 32,500,000	△ 33,258,522	758,522
消費収入の部合計	794,745,830	796,525,591	△ 1,779,761

### 消費支出の部

(単位 円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	560,700,000	559,699,768	1,000,232
教育研究経費	140,102,000	138,045,636	2,056,364
管理経費	56,489,000	55,288,928	1,200,072
借入金等利息	9,600,000	9,510,540	89,460
資産処分差額	0	27	△ 27
徴収不能引当金繰入額	800,000	910,531	△ 110,531
〔予備費〕	5,000,000	/	5,000,000
消費支出の部合計	772,691,000	763,455,430	9,235,570
当年度消費収入超過額	22,054,830	33,070,161	/
前年度繰越消費支出超過額	2,246,788,745	2,246,788,745	/
翌年度繰越消費支出超過額	2,224,733,915	2,213,718,584	/

# 監 査 報 告 書

学校法人 精 華 学 園  
理事長 藤 田 曙 久 様

平成 23 年 5 月 10 日

監 事 西 村 明 史 印

監 事 阪 田 義 澄 印

私達は、平成22年度(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

## 1. 監査概要の手続

### (1) 会計監査について

帳簿並びに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、計算書類の正確性を検討した。

### (2) 業務監査について

理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務報告を聴取し、関係書類閲覧等必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

## 2. 監査意見

(1) 収支計算書、貸借対照表及び財産目録の数値は、当然会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく示していると認める。

(2) 理事の職務執行に関する不正行為、又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないと認める。

以 上